

美術科

1 なぜ、図画工作から美術に変わるの？

図画工作	美術
絵を描く ものを作る 工作する	どう描くとよいか考えて描く なぜ美しいか考える 生活に関わるものを考える

「作って楽しむ」ことから「美しさを考えること」が大切になります。

2 美術の授業で大切なこと

美術は絵が上手ならいいわけではありません。もちろん上手に作れることも大切ですが、「なぜ、そういう風に作ったか」や、美術作品を見た時に「きれい！」だけではなく「なぜ、きれいだと思ったのか」など「なぜ」に答えを出すことが大切になってきます。

また、「こんな風に作ったら正解」という答えがあるわけではありません。みんなできあがるものが違うのが当たり前です。答えがない問題に挑戦することが大切です。

3 なぜ美術を学ぶのか

何かを見て、美しい、かっこいい、かわいいなどと感じること、その心はとても大切なものです。またそれを考えて、自らの手で作り出す力を身に付けられると、生活が豊かになっていくことでしょう。また生きていく上で、答えがない問題というのはたくさんあります。美術の作品を作ることを通して、答えのない問題を解いていく力を付けていけるとよいでしょう。

4 授業の進め方

授業には、1、2時間で終わる短いものから、数時間かけて作るものもあります。

また、「作る授業」と「作品を見る鑑賞の授業」があります。

5 ここを意識するとよいです

1 表現する力や知識	2 考える力	3 主体的に取り組む力
○自分が考えたものを表現する力を見ます。 ○色の作り方、絵の具の塗り方など考えながらできるとよいです。 ○時間内にできるかも大切です。 ○美術の知識が身に付いているかを見ます。	○アイデアを出す力を見ます。テーマにあったアイデアが考えられるかが大切です。 ○どのように表現したらよい作品になるか工夫できるとよいです。 ○作品を見て考える力を見ます。	○作品をよりよくするには、どうしたらよいかを考えて取り組むことが大切です。 ○活動を振り返り、次回どうしていくとよいかを考えられるとよいです。